



**平成26年度 糸魚川市立根知小学校**

所在地 糸魚川市大字東中5121-1  
 校長名 谷口 一之  
 教頭名 富永 範子  
 TEL 025-558-2100  
 FAX 025-558-2109  
 E-mail nechi@itoigawa.ed.jp

学級・児童数(平成26年5月1日現在)								
学年	1	2	3	4	5	6	特	計
男	7	0	5	2	3	2	0	19
女	4	2	0	0	1	3	0	10
計	11	2	5	2	4	5	0	29
学級数	1	1	1		1		0	4

**1 学校の概観**

**(1) 学校の沿革**

- 昭和48年 下根知小学校、上根知小学校、蒲池小学校を統合し、根知小学校として開校
- 平成4年 創立20周年事業により遊具設置
- 平成10年 1月財団法人音楽鑑賞教育振興会より優秀賞受賞
- 平成11年 9月現在の地へ移転
- 平成14年 小滝小学校、山之坊小学校を統合  
 // 創立30周年記念式典の挙行
- 平成18年 校舎アスベスト除去工事
- 平成21年 体育館耐震補強工事、体育館フロア改修工事、校舎外壁改修工事、屋上防水工事
- 平成24年 2月防災教育チャレンジプラン2011（内閣府主催） 防災教育特別賞受賞  
 // 10月創立40周年記念式典・講演会・祝賀会の挙行 ブランコの設置及び植樹
- 平成25年 2月防災教育チャレンジプラン2012（内閣府主催） 防災教育大賞受賞
- 平成26年 1月平成25年度ぼうさい甲子園（兵庫県等主催） 小学生部門ぼうさい大賞受賞

**(2) 教育課題**

- 自分で考え行動し、自己肯定感を高める児童の育成  
 「地域防災教育の推進」「糸魚川中学校区ひすいプロジェクトの推進」

**2 本年度の教育課程**

**(1) 教育目標**

「考える子 助け合う子 がんばる子」

**(2) 重点目標**

- 考えをもち 課題を解決する子
- 思いやりの心で かかわり合う子
- めあてをもち ねばり強くきたえる子

**(3) 重点目標達成のための方策**

- 考えをもち課題を解決できるよう、学力検査や診断テスト等の結果を基にした学力の実態と特別支援教育の視点から、個に応じた学習指導を推進する。
- 自己内省力や自己肯定感を高め共感的な人間関係づくりが行えるよう、児童一人ひとりによりそいながら、児童同士、さらに地域とかかわる教育活動を実践する。
- 保護者と連携しながら、めあてをもちねばり強く心身を鍛えるよう1学校1取組を確実に推進したり、望ましい生活習慣が身に付くよう生活振り返り習慣や保健指導を充実させたりする。
- 防災教育及び社会福祉教育と関連付けながら地域参加型のキャリア教育（郷土愛、人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力）を推進する。
- 保護者及び地域の意見を学校教育に生かせるよう、学校の防災教育を地域とともに考える機会を設定したり、地域の人財を授業や行事等の講師や参観者として積極的に招いたりする。

(4) 努力事項

分野	努力事項
学校経営	<p>○地域とともに生きる…「防災教育」を地域とともに推進し信頼される学校づくり活動を共にすることで、教育活動の理解・地域理解・地域発信につなげる。</p> <p>○考える子・助け合う子・がんばる子の育成 教職員一人ひとりが創意を發揮し、児童一人ひとりの担任であるという意識で子どもと接し、「総意ある学校づくり」を展開する。</p> <p>○教職員の資質・指導力の向上 子どもに寄り添い、教育目標の実現を目指し、総合的な人間力を備えた全教職員による教育活動を展開する。使命感と実践的指導力を重視する教員の資質能力の向上を図る。</p>
一貫教育	<p>○根知保育園及び糸魚川中学校区の学校、高等学校との連絡協議会を通して、共通理解に基づく基礎学力の向上と望ましい生活習慣の形成を図る。</p>
教育課程	<p>○各種諸検査(学力テスト・Q-U検査等)の分析を活かした教育活動を計画・実践する。</p> <p>○新潟県防災教育プログラムの内容を年間指導計画に位置付け、確実に実施する。</p> <p>○児童が互いに認め合い、かかわり合う場の設定や人権教育、同和教育強調週間を設定する。</p> <p>○1学校1取組計画を実態に応じて見直し、確実に実施する。</p> <p>○週案を活用し、目標と見通しを確実にした授業実践と時数管理を行う。</p> <p>○新潟っ子を育むキャリア教育の視点から各種教育活動を計画し実施する。</p>
体力・健康	<p>○体力テストの結果に基づく体力課題を明確にし、具体的な取組を推進する。</p> <p>○年間を通して、全校での運動・遊びをする時間と場を確保する。</p> <p>○月に1度、家庭と連携した生活習慣振り返り週間を実施し改善を図る。</p> <p>○学校保健委員会を活用し、児童の実態の共通理解と具体的取組の連携を図る。</p>
食育	<p>○望ましい食習慣を身に付け、自分の健康を自分で守る力を育成する。</p> <p>○楽しい食事や給食指導を通じた好ましい人間関係を育成する。</p>
道徳教育	<p>○命の尊さを実感し、自他の命や心を他の人とも協力して共に守ろうとする態度を養う。</p> <p>○体験活動を道徳授業と関連付け、計画性をもって授業に生かす取組を行う。</p> <p>○学年活動・学校行事で道徳的実践力の育成の場を設定する。</p> <p>○地域の行事への参加を促し、道徳的価値(郷土を愛する心)との連携を図る。</p>
人権教育 同和教育	<p>○いじめ、仲間外し等へ即時対応をする。</p> <p>○教育活動全体を通じた人権感覚、共生的人間関係を築く力を育成する。</p> <p>○「生きる」等の資料を活用した計画的な授業の実践と指導の改善を図る。</p> <p>○教職員の人権感覚を磨き、同和教育に関する理解を深める研修を実施する。</p>
平和教育	<p>○「糸魚川市平和都市宣言」の存在を知り、相手を理解し立場の違ういろいろな人とも穏やかな関係を結ぼうとする態度を育てる。</p> <p>○教科指導の中で戦争や平和に関する教材をとりあげ、平和の尊さを考える機会を作る。</p>
特別支援教育	<p>○支援の必要な点を明確にし、職員と保護者が協調して適切に支援する。</p> <p>○円滑な集団行動をとることができるように、場に応じた個別の支援を行う。</p> <p>○支援の必要な児童を取り巻く環境を整えるとともに、他の児童が適切に接しようとする態度を育てる。</p>
情報教育	<p>○コンピュータに触れる機会を多く設定し、コンピュータ活用の資質・能力を高める。</p> <p>○インターネットを活用していく上での問題点にも触れ、情報についてのモラル(根知ケット)を高める。</p>
特色ある 教育活動	<p>○糸魚川ジオパーク特有の自然災害や自然の恩恵(郷土愛)を意識した新潟県防災教育プログラムの自校化を図り、地域とともに「防災教育」を推進し、信頼される学校づくりを行う。</p> <p>B年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・⑨雨飾山・しろ池(1・2年生活科)</li> <li>・⑥⑫糸静線と塩の道、⑨雨飾山(3・4年総合的な学習の時間)</li> <li>・⑨小滝川ヒスイ峡及び⑬姫川溪谷(5・6年理科:流れる水のはたらき)</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

### 3 学習指導の大綱（各教科・道徳・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動）

	指導の重点	具体的な実践の方策
教科指導	基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、自ら学ぶ力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題を明確にした「分かる」指導の工夫</li> <li>・学力調査等のデータ分析を生かした指導と評価の工夫</li> <li>・思考場면을重視し、自分の考えを表現する課題解決的な学習</li> <li>・話す、聞く、読む、書く場面での言語活動の充実</li> </ul>
道徳の時間	相手の立場に立って考え、人として望ましい行動を進んでしようとする態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心に響く教材の選定と、児童が主体的に考える場の設定</li> <li>・体験活動の事前・事後指導での、道徳的価値の掘り起こし</li> <li>・道徳的に価値ある行動の具体的な場面の明確化</li> <li>・ロールプレイ、SST等を取り入れた指導の展開</li> </ul>
外国語活動	外国の言語や文化についての理解を深め、進んで外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な繰り返し練習による外国語の基本的な表現を身に付ける工夫</li> <li>・ALTや担任、児童同士の対話活動の重視</li> <li>・ネイティブの発音や文化に積極的に触れる場の設定</li> <li>・コミュニケーションに必要な具体的な技術の指導</li> </ul>
総合的な学習の時間	地域の人々とかかわり、地域の文化や自然に触れ、よりよい自分の生き方を追求する態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災教育の視点からの単元開発</li> <li>・地域の教育資源を生かし地域の人々とかかわることにより、地域の文化や自然のよさ、人々の努力への気付きと地域への愛着心の育成</li> <li>・自分の行動の振り返りと今後の地域へのかかわり方の思考</li> </ul>
特別活動	自己肯定感をもち、共感的な人間関係の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縦割り班を活用した自律を促し、協力する活動の工夫</li> <li>・児童会を中心とした自治的活動の推進</li> <li>・児童参画による学校行事の計画</li> <li>・地域行事との連携の推進</li> </ul>

### 4 生徒指導の大綱

#### (1) 指導の重点

- 互いの良いところを見つけ認め合おうとする態度と、それを言葉や行動で表現する意欲を育てる。
- 自分から声を出していろいろな人と関わり、積極的に意志表示しようとする態度を育てる。
- 節度ある生活態度に向けて自分自身の行動について評価し、不十分なところは進んで直そうとする意欲を育てる。
- 決めたことに向かって真剣に取り組む態度を育てる。

#### (2) 具体的な実践の方策

- ・年間スローガン「声かけ合って 元気なあいさつ やさしい言葉」を学校、学級で推進していく。
- ・一人ひとりを認め合う雰囲気づくりに努め、認められた喜びを味わわせる。
- ・いじめ防止学習プログラム・中1ギャップ解消プログラム・絆強調月間・人権教育強調月間などに関連付けた指導を行う。
- ・生活目標の指導の手立てを明確にし、子どもがめあてに向かって努力できるように工夫する。
- ・朝会等で職員間の情報交換を密にし、問題行動や非行の早期発見に努め、迅速・適切な指導をする。
- ・PTA安全指導部や地域と協力し、あいさつ運動・交通事故防止・非行防止の推進に努める。
- ・道徳指導との連携を図り、思いやりの心を育てる。
- ・QU検査、定期的な教育相談等の情報を有効に活用し、児童の内面に目を向ける努力をする。

## 5 校内研究の概要

### (1) 研究主題

「人や自然とよりよくつながる子どもの育成」  
～地域と触れ合い・地域とかかわる防災教育を通して～

### (2) 研究主題設定の理由

当校では、平成24年度から、地域の歴史や人・文化を学ぶ機会を年間指導計画に位置付け、地域の「人・もの・こと」と触れ合いとかかわる活動を通して、思いやりの心を高めたり、自ら考えて行動したりする子どもの育成を図ってきた。その結果、郷土の自然や歴史、文化を主体的に調べたり、郷土に起こりうる災害に関する知識や意識が身につけてきたりした。さらに、地域の人々と抵抗なくかかわることができるようになり、郷土を大切に作る気持ちが育ってきた。

しかし、学習したことや体験したことを自分の生活や周りに置き換えて考える力や自分にとっての意味や価値を考え、他者にわかるようにまとめたり、伝えたりしていく力は十分であるとは言えない。

そこで、今年度は、人や自然と協力・共存し、人同士が互いに協力し、支え合いながら、困難な課題について解決に向けて努力する態度を養うとともに、学校を核とした地域ぐるみの防災教育の充実を図る。

### (3) 研究の仮説

地域の「人・もの・こと」と触れ合い・かかわる防災教育を各教科や道徳、特別活動等において計画的・継続的に実践することにより、人や自然に対して、自らの考えに基づいて判断し、よりよい行動ができる子どもを育てることができる。そして、コミュニケーション能力や人間関係づくりの能力を育み、自己肯定感を高めることができる。

### (4) 研究内容

自己肯定感を高めるための手段の一つとして、地域と触れ合い・かかわる「地域の歴史や人・文化を学ぶ場の工夫」を行う。そして、かかわり・触れ合うために必要な「コミュニケーション能力を高める場の工夫」「人間関係づくり能力を育む場の工夫」を柱としたプログラムの作成を行う。

### (5) 研究の具体的な手立て

#### ①地域の歴史や人・文化を学ぶ場の工夫

- ・課題設定の工夫

防災教育プログラムの自校化に向けた学習課題設定を行う。さらに、思考・判断力も高められる課題を設定する。

- ・かかわり・触れ合う場の設定

児童の発達段階に応じて地域のどのような人とかかわり・触れ合うかを考える。また、表面的なかかわりではなく、相手を思いやる心が育まれるよう継続してかかわられる場となるようにする。

#### ②コミュニケーション能力を高める場の工夫

- ・話し合い活動の充実

相手との会話を通して、自分の存在を見つめて思考したり、集団の中で他者と協働することができたり、他者とコミュニケーションを図る上で必要な力を身に付けられるような場を設定する。

#### ③人間関係づくり能力を育む場の工夫

- ・異年齢や地域の人との交流

友達同士だけではなく、縦割り班活動や地域の人とも交流する場を設けるようにし、多様な感じ方や考え方があることを学ぶとともに、相互関係を深め、共感しながら関係を築けるようにする。

## 6 日課表・授業時数

### (1) 日課表

時刻・曜日	月	火	水	木	金	勤務時間表	
8:00	児童登校					勤務時間 8:15~16:45	
8:15~8:30	全校朝会	朝読書	朝学習	朝読書	朝読書		
8:30~8:40	朝の会						
8:40~9:25	授業 1	授業 1	授業 1	授業 1	授業 1		
9:30~10:15	授業 2	授業 2	授業 2	授業 2	授業 2		
10:15~10:35	根知っ子タイム						
10:35~11:20	授業 3	授業 3	授業 3	授業 3	授業 3		
11:25~12:10	授業 4	授業 4	授業 4	授業 4	授業 4		
12:10~12:50	給食						休憩 12:50~13:35
12:50~13:35	昼休み						
13:35~13:55	清掃						
13:55~14:40	授業 5	授業 5	授業 5	授業 5	授業 5		
14:40~15:00	帰りの会						
15:00~15:45		授業 6	委・ク	授業 6	授業 6		
	(課外活動)						
16:30	児童下校						

### (2) 各教科・道徳・特別活動・外国語活動・総合的な学習の時間の年間予定授業時数

教科等/学年	1	2	3	4	5	6	月	日数	土日数	祝日数	休業日	授業日
国語	306	315	245	245	175	175	4月	30	8	1	4	17
社会			70	90	100	105	5月	31	7	3	0	21
算数	136	175	175	175	175	175	6月	30	9	0	0	21
理科			90	105	105	105	7月	31	9	1	5	16
生活	102	105					小計	122	33	5	9	75
音楽	68	70	60	60	50	50	8月	31	10	0	19	2
図画工作	68	70	60	60	50	50	9月	30	8	2	0	20
家庭					60	55	10月	31	8	1	0	22
体育	102	105	105	105	90	90	11月	30	10	2	0	18
道徳	34	35	35	35	35	35	12月	31	8	1	5	17
外国語活動					35	35	小計	153	44	6	24	79
特別活動	学級活動	34	35	35	35	35	1月	31	9	2	4	16
	児童会活動	9	9	9	13	28	2月	28	8	1	0	19
	クラブ活動			9	13	13	3月	31	8	1	5	17
	学校行事	49	49	60	60	62	59	小計	90	25	4	9
総合的な学習の時間			70	70	70	70						
合計	908	968	1023	1066	1083	1078	合計	365	102	15	42	206

7 主な年間行事計画

月	儀式的・学芸的	健康安全・体育的	遠足・集団宿泊的	勤労生産・奉仕的	一貫教育の推進
4月	新任式・1学期始業式 入学式準備・入学式 知能検査 (児童総会・JRC登録式・ 1年生を迎える会)	健康診断 心臓検診 (地区子供会)【基】 交通安全教室		防犯パトロール員・読み 聞かせボランティア面 識会	学習参観 PTA総会
5月	家庭訪問	避難訓練 運動会練習・準備 運動会 生活振り返り週間【基】		プール清掃 学校田田植	地域防災懇談会【基】 家庭学習強調週間【基】
6月		プール開き 体力テスト 生活振り返り週間【基】	防災キャンプ	地域のお年寄りへの給 食サービス【基】	学習参観・救命救急法講 習【基】 家庭学習強調週間【基】 地域防災懇談会【基】 地域防災訓練
7月	計算力テスト 漢字力テスト 1学期終業式	校内水泳記録会 (地区子供会)【基】 親善水泳大会 生活振り返り週間【基】		学期末大清掃	学習参観 学期末懇談会 家庭学習強調週間【基】
8月	2学期始業式				
9月	学校評議員会	避難訓練 生活振り返り週間【基】 発育測定 親善陸上大会			おててこ舞 十二社祭礼相撲 学習参観 家庭学習強調週間【基】
10月	知能検査 文化祭準備 文化祭	体力テスト 生活振り返り週間【基】 歯科検診 校内持久走記録会		学校田稲刈り	根知地区運動会【基】 家庭学習強調週間【基】
11月	小中音楽発表会	生活振り返り週間【基】 食育授業【基】		地域のお年寄りへの給 食サービス【基】 地域のお年寄りへの年 賀状作成(絵手紙)【基】	就学時健康診断 学習参観・懇談会 いじめ見逃し0スクー ル集会【基】
12月	計算力テスト 漢字力テスト 2学期終業式	(地区子供会)【基】 生活振り返り週間【基】		地域のお年寄りに配布 するチューリップの植 え付け【基】 学期末大清掃	地域防災懇談会【基】 個別懇談 家庭学習強調週間【基】
1月	3学期始業式 校内書初め会 校内版画展	発育測定 生活振り返り週間【基】 食育授業【基】 避難訓練 スキー教室			フリー参観 中学校体験入学 中学校との情報交換 家庭学習強調週間【基】
2月	(豆まき集会) (児童総会) 学校評議員会	スキー教室 生活振り返り週間【基】 校内スキー大会			保育所との情報交換 移行学級・子育て教室 【基】 家庭学習強調週間【基】
3月	計算力テスト 漢字力テスト (6年生を送る会) 同窓会入会式 3学期終業式 卒業式	(地区子供会)【基】 生活振り返り週間【基】		感謝の会【基】 地域のお年寄りへのチ ューリップの配布【基】 学期末大清掃	学習参観 PTA総会 家庭学習強調週間【基】

備考

- 毎月2回ボランティアによる読み聞かせを実施する。
- 毎月1回、学校便りを発行する。

# ひとみかがやく 日本一の子ども



## 平成26年度 根知小学校の教育

### 教育目標 「考える子 助け合う子 がんばる子」

教育課題：「地域防災教育の推進」「中学校区ひすいプロジェクトの推進」～自分で考え行動し、自己肯定感を高める児童の育成～

#### 考えをもち 課題を解決する子

＝基礎基本の定着のために＝

- 〈目標とする成果〉
- フワークテストの学期平均で80点以上が8割以上
  - 全校漢字・計算テストで90点以上が8割以上（学期1回）
- 〈目標達成のための取組〉
- 授業における学習課題の提示（9割以上）
  - 思考場面で自分の考えを書かせるノート指導（9割以上）
  - 家庭と連携し家庭学習の定着を図る強固週間の実施（毎月）
  - 目標時間・・・低学年30分以上、中学年45分以上、高学年1時間以上（原則土日とも実施）
  - 日記・・・低学年100字、中学年150字、高学年200字
  - 全学年1回の授業研究の実施

＝自ら学ぶ力の育成のために＝

- 〈目標とする成果〉
- 防災教育・キャリア教育の推進
  - 5つの力（働土量、人間関係力、社会形成能力、自己理解・自己管理能力、問題対応能力、キャリアプランニング能力）の肯定評価8割以上
- 〈目標達成のための取組〉
- 地域の人や素材とかわる学習・・・学期2回以上
  - 活動後の活動記録と振り返りの実施
  - 県防災教育プログラムの自校化・・・B年度分完成
  - 防災の視点を取り入れた単元の開発・・・1単元以上

#### 思いやりの心で かかわり合う子

＝豊かな心の育成のために＝

- 〈目標とする成果〉
- 挨拶への取組の肯定評価が8割以上
  - 協力や助け合いの肯定評価が8割以上
- 〈目標達成のための取組〉
- 児童会主体のあいさつ運動の実施・・・学期1回以上
  - 児童会が企画運営する全校活動・・・学期3回以上
  - QIU分析結果の活用・・・年2回以上
  - 人権に関する道徳の授業実践・・・年1回以上
  - ソーシャルスキル学習の実施・・・年2回

＝いじめ不登校の解消のために＝

- 〈目標とする成果〉
- 学校生活への充実感や満足感・・・肯定評価8割以上
  - いじめや不登校傾向への早期対応、対策委員会を活用した即日対応
- 〈目標達成のための取組〉
- 日記への担任からの一言の記入・・・8割以上の日で実施
  - 定期的なアンケートと教育相談・・・学期1回
  - 全職員による児童理解研修会・・・学期1回
  - 週に1回の情報交換・通時対応会議

#### めあてをもち ねばり強くぎえたる子

＝体力の向上のために＝

- 〈目標とする成果〉
- 運動遊びの肯定評価が8割以上
  - 50m走・握力の向上が8割以上
- 〈目標達成のための取組〉
- 1学校1取組の実践（根知っ子タイムの運動遊び）
  - 5月・10月の年2回体力テストを行う・・・計面通り実施
  - 児童会の計画による運動遊び・・・年3回以上

＝良好な生活リズムの定着のために＝

- 〈目標とする成果〉
- 個々の生活リズムの課題を改善した児童が8割以上
  - 生活振り返り週間の実施・・・6月から毎月
  - 学校保健委員会の実施・・・年2回以上
  - 食育の授業公開と懇談・・・各学年1回以上

#### 保育園・中学校等との連携

- 赤魚川中学校区共通取組事項の自校化と授業の実施
- 中学校区の指定訪問時間における授業参観
- 中学校区の学校保健委員会の開催と共通理解
- 保育園・中学校の行事の参観
- 運動会、文化祭などの学校行事に加え、フリー参観、校内授業研究等の授業公開
- 保育園、中学校職員との交流授業と情報交換会の開催

#### 家庭との連携

- 家庭学習の習慣化と目標達成に向けた学校一家庭との連携
- 生活リズムと運動習慣の定着
- 家族一揃いに取り組むメディアコントロール
- 「声かけ合って、元気なあいさつ やさしい言葉」の取組
- 食育授業の公開と朝食4品運動の推進
- 「学ぶPTA」の実施・・・子育て学習、講演会の実施
- 保護者によるスキ学習指導

#### 地域との連携

- 運動訓練の公開、防災キャンプの根知防災会との共同開催（地域防災懇談会）
- 赤魚川中学校区学校支援地域本部事業による積極的な人財の活用
- 学校評価委員会（年2回）及び拡大学校評議員会（年3回）の開催
- 「ふるさと先生」との学習会・生活科・総合学習、クラブ・課外活動、スキー学習、伝統・文化の継承
- 読みかせボランティア・・・毎月2回（火曜日朝）
- 運動会・文化祭などの学校行事への招待